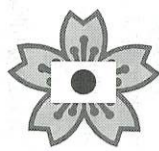


国防は最大の
福祉である

高橋季義



國の支え

(故中井信夫元大阪府議会議長・95才)

関西防衛を支える会
(略称・関防会)

〒542-0081
大阪市中央区南船場3-11-10
心齋橋大陽ビル7階
TEL 06-6241-1124
発行人 瀨野晃吉
編集人 新川貞敏
印刷所 (株)新聞印刷

第33号

(新年号)

平成20年1月1日(火)

(皇紀2668年)

(大正紀元97年)

(昭和紀元83年)

謹賀新年

新年のご挨拶

関西防衛を支える会
会長 瀨野 晃吉

新年明けましておめでとう
ございます。一昨年は高
橋季義前会長が逝去され、
また昨年は中島元相談役が
亡くなるという悲報が続き
ました。本会のために多大
な尽力を頂きましたお二人
の遺志を継いで日本真正の
ために心を新たに会員全員
で頑張りたいと思います。
昨年を振り返ると種々の出
来事がありました。安倍
総理の辞任は実に残念でし
た。

特措法延長問題で小沢党首
に会談を申し入れたが断ら
れた。ためと説明があっ
た。腑に落ちないので確認
したところ、胃腸の病気で
体力衰退したと聞いた。
就任から二年、安倍政権は
戦後体制からの脱却と美し
い日本をつくる
ためによく頑張
った。特に愛国
心を養うため教
育基本法を改正
し、防衛庁を

せて日本経済を支えてい
る。中東から石油を運ぶ、タ
ンカーがこのシーレーンで
テロ攻撃を受ければ日本経
済は崩壊の危機に瀕する。
平成16年4月日本郵船の超
大型タンカー「高鈴」28万
トンがテロに攻撃された。
タンカーは3隻の高速ボ
トにより攻撃され船体を銃
弾でえぐられるなど破損し
たが、ペルシャ湾に展開す
る多国籍軍により間一髪で
阻止され助けられた。しか
し、この自爆テロで多国籍
軍のアメリカ兵2名が死亡
し、沿岸警備隊
員1名が死亡し
ている。日本の
タンカーを護る
ために多国籍軍
の兵隊が死亡
で一生懸命支援活動を行っ
たからである。
わが国の国益の為に崇高
な任務をはたしている自衛
隊を、本会としてはしっかり
り支援していかねばならぬ
い。

中東から石油を運ぶ、シ
ーレーンの安全確保はわが
国の死活にかかわる問題で
あり、国益の確保かつ国際
貢献の観点から、早急に新
テロ法を成立させ、支援活
動に復帰させるべきであ
る。
とことで、昨年11月西村
真悟代議士とともに台湾を
訪問し、李登輝前総統、蔡
煌燦先生、黃昭堂台湾独立
建国連盟主席の講演を聞く
機会を得た。李前総統は、
自らの経験談をまじえり

の学んだ台湾の学校に設置
され、各教室に備え付けら
れたスピーカーから日本の
歌が放送された。その歌詞
等をまとめた総合教育讀本
を全員に寄贈くださった。
その日本の歌詞は日本精神
の塊であり、日本の心に溢
れている。蔡先生は日本の
素晴らしさを語り、日本人
は誇りをもちと叱咤され、
ご夫妻で日本の歌を合唱い
ただき感激した。さらに黃
先生は台湾が中国のものに
なると、石油のシーレーン
に重大な影響を受けるだけ
ではなく、台湾が保有する
世界第4位の外貨が中国の
手に入り、最新兵器を持つ
台湾が日米を攻撃する最先
端基地となり、日本の安全
保障にとって重大な危機と
いかなければならない。



「信任状捧呈式」に臨むハンガリー新駐日大使 (H19.10.19皇居)

「防衛省」に昇格させ、憲
法改正のための国民投票を
成立させた。実に立派であ
る。祖父の岸信介元首相も
父安倍晋太郎元外務大臣も
草葉の陰でよくやっていた絶
大なる賛辞をおくっている
ことと思う。また元気がな
って捲土重来を期待してい
る。
周知のとおり、平成19年
11月1日でテロ特措法の期
限が切れ、インド洋からペ
ルシャ湾にかけて海上自衛
隊により行われてきた給
油、給水支援活動が中止に
なった。
日本は原油の9割を中東
に依存している。それによ
り電力をつくり、車を走ら
洋にかけて過酷な状況の中

日本国真正のため 草の根運動を展開

し、今も多国籍軍がペルシ
ヤ湾を航行する1日40、50
隻の日本のタンカーを命懸
けで守っているのになら
ないのか。
湾岸戦争の時、日本は多
国籍軍へ約1兆7000億
円の資金援助を行ったが、
参戦国からお金だけ出す姿
勢を非難され感謝されな
かった。テロ特措法に基づ
これらの支援活動の経費は
6年間で約20億円といわれ
ている。それにも関わらず
日本が関係各国から感謝さ
れ高い評価を受けている。
これは自衛隊員がイラク復
興支援に厳しい環境で頑張
り、ペルシャ湾からインド
洋にかけて過酷な状況の中

なると強調された。
今年3月には台湾の総統
選挙、11月には米大統領
選があるが、この結果によ
っては、わが国の安全保障
が大きな影響を受ける。わ
が国としては自国の防衛を
ていただきます。

本人が本来もっている大和
魂を覚醒させ、愛国心をも
つて自らの国は自ら守る草
根運動であります。国を想
う皆様の思いをしっかりと受
け止め、日本真正のため本
年もともに頑張りたいと存
じます。
今年も変わらぬご支援、
ご協力をお願い申し上げます。
すとともに、皆様のご健
勝、ご多幸を祈念申し上げ
まして新年のご挨拶とさせ
ていただきます。

中共に屈する小沢民主党
民主党参議院議員 大江康弘 2面
「集団自決」教科書検定問題の背景
防衛大学二十二期 恵 隆之介 2・3面
東アジアにおける日本の主導権と
リーダーシップについて
前台湾総統 李 登輝 4・5面

第11回定時総会の御案内
期日 5月17日(土)
午後1時から
会場 ラマダホテル
地下鉄・中津駅下車すぐ
講師 元空将 佐藤 守氏
(防大7期)
乞御期待 詳細は春季号で

講師・大江康弘参議院議員を評す

地方議員百人の会
事務局長 増木 重夫

私は(勝手に)思っていることですが、自
民党総務会長・和歌山の二階俊博参議院議員に
勝てるのは、大江先生しかないと思います。
「動」の論客が西村真悟代議士、松原仁代議士
なら、大江康弘先生は「静」の論客。西村、
松原両先生に挟まれ、物静かに見えますが実
は二人に勝るとも劣らぬ愛国者で台湾問題
や外交問題のエキスパートです。安倍総理の

第11回 関防歴史勉強会 「中島サロン」のご案内

期日 2月9日(土) 午後4時から
演題 領土の保全
(北方4島・竹島・尖閣諸島問題)
講師 大江康弘参議院議員
(民主党・和歌山選出)
会場 錦城閣
(地下鉄、京阪電車天満橋駅下車すぐ)
—キャッスルホテル3F・中華料理店—
会費 3000円(含む飲食代)
備考 2月7日は北方領土の日です、
これに併せて領土問題を熱く語
って戴きますので、気楽にご参
加下さい。
連絡 090-8160-0521(新川)

新年に寄せて

民主党
参議院議員
大江康弘



新年あけましておめでと
うございます。
良き年をお迎えの事と存
じます。昨年を振り返り
みますと、2度目の選挙も
おかげさまで当選、引き続
き国政に参画させていた
く事になり、私にとりま
しては良き年となりました。
唯、参院選挙の結果は民
主党が議席をばし政治状
況を大きく変えましたが、
私、個人としては国家の基
本政策が対立して、ねじれ
状態の姿は決して良いとは思
いません。

「政局の府」と変わり、国
家、国民の為になっ
てい
い現状を憂う一人です。
リーダーに国家観がなく
し、取り入れているからで
しょう。
9・11以降、アメリカも

覇権国家中共に屈する小沢民主党

「政局の府」と変わり、国
家、国民の為になっ
てい
い現状を憂う一人です。
リーダーに国家観がなく
し、取り入れているからで
しょう。
9・11以降、アメリカも

次第です。
日本がこのようなメッセ
ージか海外に送れないと
いう結果は我々に対して
「絶えずスキあらば」と狙
っている国々、例えば中国
や北朝鮮をどう喜ばせ
ているか、それは同時
に我が国が大切な利益を損
なしていることにもつなが
っているのです。
9・11以降、アメリカも

中が主導を進めていくとい
う事を宣言した事は、日本
にとってどれ程有害無益で
あるか、又脅威を与えよう
を認識すべきです。
しかも懸念材料は、本年
の米大統領選で民主党候補
者が強いといわれている事
であり、オバマ、クリント
ン両氏はそれぞれ中国との
友好関係をアジア政策の第
一にかけかけている事、また

昨年、このオーストラリア総
選挙でも労働党出身、親中
派政権が誕生し、更にアジ
ア太平洋での不安定化が
進んでいる事です。
昨年、日中友好35周年
（同時にこれは日本が友好
国台湾を真切に侮辱した）
5年の歴史でもある）など

でも外交や北東アジアの情
勢を要する可能性のある出
来事がある、と見られます。
それは台湾の立法院（国
會議員）選挙（本年からは
定数が225から113に
減り、小選挙制度を導入
1月に執行されると3月
の総選挙の2つです。
党軍に敗れ、台湾に逃げて

ます。当時の国際環境
（欧米の列国強化、植民地
化）という背景があったに
せよ、台湾の国民の皆さま
には苦しみや辛さを与えた
事は事実であります。
唯、大陸中国から戦後
（1945年）、毛沢東共産
軍に敗れ、台湾に逃げて

きた国民党政権は、この間
の歴史を評価できる立場に
ないと思っております。
果たして馬英九氏にはこ
の資格があるのでしょうか。
他の国々がアジアを植民
地として搾取し、支配し、
統治したような手法ではな
く、少なくとも我々は自國
の領土、国民としてのとら
え方で国内政策同様に進め
てきた事は事実であり、こ
の事が今でも多くの
台湾の国民が認めて
いただいている歴史
の一助であり、この
事実が今日の日本と台湾の
友好の「基（もと）」とな
っている事を馬氏は認識
すべきです。
従って、我々日本に今必
要な台湾のリーダーは「知
日派」などではなく、「親日
日派」などを求めています。
派」のリーダーを求めている
のです。少なくとも今の

親日派・陳水扁政権の対日
政策を引き継いでいける政
権が絶対条件であり、仮に
台湾の中国化や大陸化が進
んでいくような政権が誕生
する（国民党）ような結果
になれば、日・台関係のみ
ならず、北東アジア全体の
危機的状況を招くと言える
でしょう。
我が国は正式な外交関係が
無いことで、建て前上は
「政治的に関与しない」と
言いながらも米・中の圧
力を受け、両国の顔色を見
ながら台湾の節目、節目の
大切な時に悪いメッセージ
ばかりを送ってきました。
これは米台関係でも同様でし
ょう。
「中東に民主国家を誕生
させる」などと言ってイラ
クで戦争まで始めた国が、
何故このアジアで民主主義
を大切に育てている「台湾
」……

本年も、これらの事の実
現の為、皆さまの指導を
賜りながら、力一杯日台友
好の為頑張って参ります。
祖国、日本の繁栄を祈り
つつ……

「政局の府」と言われる
参議院は、今や「政争の府」
に近づいている、真喜志（ま
きし）文字という79歳の老
婆がおられます。この方の
話を聞きますと、父母を疎
開させるために那覇港に見
送り来たら、水兵がたく
さん艦から降りて来て、
「艦長命令です！ 全員乗
ってください。まもなく米
軍は上陸します」というこ
とで、そこいら人力車の
車夫から、労働者まで、か
たがへて三隻の艦艇に
乗せられたそうです。そこ
で、那覇港を出たら高速で
「その字運動」を繰り返す
が熊本の三角港に入っ
た。その結果、この一家は
全員助かっているのです。
ます。このように帝國陸海
軍は、米軍が上陸する沖繩
戦の直前まで、住民の疎開
に死力を尽くしたわけであ
ります。そして、米軍が上陸して
来た。米軍は本島中部に上
陸し、南下した。帝國陸軍
も本島南部で決戦をするつ
もりでありました。沖繩本
島が分断されたものですか
ら、もう本島北部山岳地帯
への疎開も不可能になりま
した。この時どうしたか。
沖繩の新聞や朝日新聞は、
軍は住民を保護しなかった
といっているんですけれど
も、救助された老婆が証言
しておられます。私がお話し
しているのは全部証言にもと
づいておられますので、いつ
左翼から攻撃されても十分
切り返すことができます。
どういふことかといいま
す。沖繩島の首里、那覇
は人口密集地だったんで
す。そこは、本来なら沖繩

絶対言われていました。
一方私は、物心ついた時に
は、もう母に連れられてこ
き伯母の供養のために沖繩
をこれからご紹介申し上げ
ます。
その前に平成9年頃、橋
本元総理が、沖繩問題を扱
れた時にかなり補助金をほ
ら撒きまして、「対馬丸」
は約3000人見当です。
ところが地元メディアや教
職員会は疎開の話「対馬
丸沈没による学童738
人の遭難のみ集約するの
です。従って沖繩修学旅行
に来る青少年はこの「対馬
丸記念館を見る」と、「日本
丸沈没に何と多くの犠牲を
強いのだ」と、しかも学
童にまで「と解釈し、同情
をされるわけでありませ
す。これは救助された人達
が証言しているんです。
一つ紹介いたします。私が懇

開活動を実施致しました。
戦艦に乗せて
住民を助ける
次は米軍上陸前後の住民
保護について申し上げま
す。疎開は昭和19年の8月
から開始されました。そし
て昭和20年の3月上旬で打
ち切られるわけですけども
も、それからまた大変だ
ったんです。帝國海軍は、
内規として、戦艦に乗せて
住民は乗せられないとい
うことになっていました。こ
ろが、沖繩戦が始まるギリ
ギリまで、海軍の艦艇が港
に横付けして、一般の婦女
子や乗せて高速で九州に向
かったという史実がありま
す。これは救助された人達
が証言しているんです。
一つ紹介いたします。私が懇

意にしている、真喜志（ま
きし）文字という79歳の老
婆がおられます。この方の
話を聞きますと、父母を疎
開させるために那覇港に見
送り来たら、水兵がたく
さん艦から降りて来て、
「艦長命令です！ 全員乗
ってください。まもなく米
軍は上陸します」というこ
とで、そこいら人力車の
車夫から、労働者まで、か
たがへて三隻の艦艇に
乗せられたそうです。そこ
で、那覇港を出たら高速で
「その字運動」を繰り返す
が熊本の三角港に入っ
た。その結果、この一家は
全員助かっているのです。
ます。このように帝國陸海
軍は、米軍が上陸する沖繩
戦の直前まで、住民の疎開
に死力を尽くしたわけであ
ります。そして、米軍が上陸して
来た。米軍は本島中部に上
陸し、南下した。帝國陸軍
も本島南部で決戦をするつ
もりでありました。沖繩本
島が分断されたものですか
ら、もう本島北部山岳地帯
への疎開も不可能になりま
した。この時どうしたか。
沖繩の新聞や朝日新聞は、
軍は住民を保護しなかった
といっているんですけれど
も、救助された老婆が証言
しておられます。私がお話し
しているのは全部証言にもと
づいておられますので、いつ
左翼から攻撃されても十分
切り返すことができます。
どういふことかといいま
す。沖繩島の首里、那覇
は人口密集地だったんで
す。そこは、本来なら沖繩

民を守った

在沖繩米軍による
反日・侮日教育
皆様、こんばんは！
さきほど、沖繩戦で
戦死された英霊に
対し黙祷を捧げてくだ
さいまして、ありがと
うございました。私の
伯母も、ひめゆり部隊
で戦死いたしました。
戦死公報を見ますと、
「昭和20年6月、沖繩
本島島尻付近において
戦死」ということだけ
で、最期の場所は分か
らないのであります。
私の母も、疎
開する途中、例
の「対馬丸」に
乗っておりまし
て、九死に一生
を得ました。



防大22期・恵隆之介氏の証言

しかし、私は国家を
決して恨んでおりませ
ん。
今から私は、皆さん
がヒックリするような
ことを申し上げます。
私は少年時代、学校教
育を沖繩で受けまし
た。沖繩を統治してい
た米軍政府の中に米陸
軍第8心理作戦部隊と
いうのがありました。
これが、とてもない
教育をしておりまし
た。どういった教育か
と聞いて、反日・侮日
室や地元マスメディアから
いた史実を発見したのであ

絶えず言われていました。
一方私は、物心ついた時に
は、もう母に連れられてこ
き伯母の供養のために沖繩
をこれからご紹介申し上げ
ます。
その前に平成9年頃、橋
本元総理が、沖繩問題を扱
れた時にかなり補助金をほ
ら撒きまして、「対馬丸」
は約3000人見当です。
ところが地元メディアや教
職員会は疎開の話「対馬
丸沈没による学童738
人の遭難のみ集約するの
です。従って沖繩修学旅行
に来る青少年はこの「対馬
丸記念館を見る」と、「日本
丸沈没に何と多くの犠牲を
強いのだ」と、しかも学
童にまで「と解釈し、同情
をされるわけでありませ
す。これは救助された人達
が証言しているんです。
一つ紹介いたします。私が懇

戦艦に乗せて
住民を助ける
次は米軍上陸前後の住民
保護について申し上げま
す。疎開は昭和19年の8月
から開始されました。そし
て昭和20年の3月上旬で打
ち切られるわけですけども
も、それからまた大変だ
ったんです。帝國海軍は、
内規として、戦艦に乗せて
住民は乗せられないとい
うことになっていました。こ
ろが、沖繩戦が始まるギリ
ギリまで、海軍の艦艇が港
に横付けして、一般の婦女
子や乗せて高速で九州に向
かったという史実がありま
す。これは救助された人達
が証言しているんです。
一つ紹介いたします。私が懇

意にしている、真喜志（ま
きし）文字という79歳の老
婆がおられます。この方の
話を聞きますと、父母を疎
開させるために那覇港に見
送り来たら、水兵がたく
さん艦から降りて来て、
「艦長命令です！ 全員乗
ってください。まもなく米
軍は上陸します」というこ
とで、そこいら人力車の
車夫から、労働者まで、か
たがへて三隻の艦艇に
乗せられたそうです。そこ
で、那覇港を出たら高速で
「その字運動」を繰り返す
が熊本の三角港に入っ
た。その結果、この一家は
全員助かっているのです。
ます。このように帝國陸海
軍は、米軍が上陸する沖繩
戦の直前まで、住民の疎開
に死力を尽くしたわけであ
ります。そして、米軍が上陸して
来た。米軍は本島中部に上
陸し、南下した。帝國陸軍
も本島南部で決戦をするつ
もりでありました。沖繩本
島が分断されたものですか
ら、もう本島北部山岳地帯
への疎開も不可能になりま
した。この時どうしたか。
沖繩の新聞や朝日新聞は、
軍は住民を保護しなかった
といっているんですけれど
も、救助された老婆が証言
しておられます。私がお話し
しているのは全部証言にもと
づいておられますので、いつ
左翼から攻撃されても十分
切り返すことができます。
どういふことかといいま
す。沖繩島の首里、那覇
は人口密集地だったんで
す。そこは、本来なら沖繩

日本軍は命がけで沖縄県

県の警察が避難誘導をするべきだったんですね。このひめゆり部隊を引率している陸軍の将校や下士官達が、「あなた方は生きて沖縄のために戻りなさい」と言いました。すると女子学徒は何と言ったと思いませんか。

「死ぬ時まで一緒にいたいから、ここに置いておいてください」といって涙を流しながら、下士官達が、抜刀して、「ここまですると分かんぬのか、たたく斬るぞ」といって、壕の外に追い出して投降させた。そういう風にして救助されて、今日、生きている当時の女子学徒が多数いるのであります。

「沖繩人は差別された」というくだらんことを言う者がおられますけれども、疎開して九州に行った沖繩の子供達はどうしていたかと言いますと、皇后陛下からヒスケットとか饅頭を下賜されました。わざわざ皇后陛下が詠まれたお歌までいただいている状況であります。

それで、次がもっと問題であります。沖繩戦がいよいよ激化しますと、避難住民が次々と戦開用の壕に流入して行くのであります。私は伯母の最期を知りたくて、ひめゆり部隊女子学徒の証言集を時々読んでいます。

「死に急ぐな！ 生きることを考えなさい」といって説諭され避難壕に誘導された。その憲兵は避難住民に兵糧まで配給し、「勝利の日にはまた会いましょう」といって敬礼をして、そしてまた戦場に戻って行って戦死されたそうです。私は以上の史実を、本来なら教科書に載せるべきだと思います。(拍手)

米軍に追いつめられた
「沖繩人は差別された」というくだらんことを言う者がおられますけれども、疎開して九州に行った沖繩の子供達はどうしていたかと言いますと、皇后陛下からヒスケットとか饅頭を下賜されました。わざわざ皇后陛下が詠まれたお歌までいただいている状況であります。

それで、次がもっと問題であります。沖繩戦がいよいよ激化しますと、避難住民が次々と戦開用の壕に流入して行くのであります。私は伯母の最期を知りたくて、ひめゆり部隊女子学徒の証言集を時々読んでいます。

「死に急ぐな！ 生きることを考えなさい」といって説諭され避難壕に誘導された。その憲兵は避難住民に兵糧まで配給し、「勝利の日にはまた会いましょう」といって敬礼をして、そしてまた戦場に戻って行って戦死されたそうです。私は以上の史実を、本来なら教科書に載せるべきだと思います。(拍手)

米軍に追いつめられた
「沖繩人は差別された」というくだらんことを言う者がおられますけれども、疎開して九州に行った沖繩の子供達はどうしていたかと言いますと、皇后陛下からヒスケットとか饅頭を下賜されました。わざわざ皇后陛下が詠まれたお歌までいただいている状況であります。

それで、次がもっと問題であります。沖繩戦がいよいよ激化しますと、避難住民が次々と戦開用の壕に流入して行くのであります。私は伯母の最期を知りたくて、ひめゆり部隊女子学徒の証言集を時々読んでいます。

「死に急ぐな！ 生きることを考えなさい」といって説諭され避難壕に誘導された。その憲兵は避難住民に兵糧まで配給し、「勝利の日にはまた会いましょう」といって敬礼をして、そしてまた戦場に戻って行って戦死されたそうです。私は以上の史実を、本来なら教科書に載せるべきだと思います。(拍手)

「集団自決」教科書検定問題の背景

日新聞に出た記事ですが、アメリカのシカゴに住んでいる米陸軍の軍曹だったイラン・ポックさんという人が、こういうことをいっているんです。「沖繩本島の南部で、両足を銃弾で打ち抜かれて倒れている沖繩の少年がいたので、助け上げて救命していた。すると日本兵が至近距離まで近づいてきて、狙撃されかけた。ところが、その日本兵は、米兵が少年を抱抱してウイリスが打ち込まれて行くのであります。ひめゆり学徒の証言と沖繩戦を生きたびた老婆達の証言を見ていると、その中に軍から「自決せよ」とか、「死ぬ」とか言われた話はどうにも、一言も出てこないんですよ。

ところが、米兵が子供を介抱しているのを発見したので、殺す必要はないと。これは昭和20年6月20日のことでした。沖繩戦が終結したのが6月23日でありまして、最後の戦いだったんですね。殺す必要はないと、銃口を下に向けて、その場を立ち去ったのです。その次がまた偉いんです。近くには避難民とそれを監視していた米兵達がいいた。発砲すれば住民も犠牲になるから、というところで発砲を控えたというのであります。

ですから、上は大田實海軍中将から、下はこういう兵士に至るまで、日本の国威と沖繩の将来のために、真剣に戦ったのであります。それをぜひ、理解してほしいんです。(拍手)

（残念ながら）自衛隊でさえも、最近はいったいお住まいの石橋明元上等兵であられたのです。この方は生存されておられるのです。いかにお二人の証言が一致するか、ちょっと紹介させてもらいます。この方は、当時27歳で、球（たま）部隊独立機関銃第18809隊に属していた方です。ちょうど沖繩島の最南端に向かう途中に、県人避難民45名と米兵を発見した。米兵が背を屈めて、日本人の子供に触れていたのを、虐待しているのではと思い、後方から近づき米兵の正面に立ち、米兵を撃とうとした。その時、実弾が5発入っていたといいますが、確実に撃てたわけでは

立派だった
その日本兵は、千葉県にお住まいの石橋明元上等兵であられたのです。この方は生存されておられるのです。いかにお二人の証言が一致するか、ちょっと紹介させてもらいます。この方は、当時27歳で、球（たま）部隊独立機関銃第18809隊に属していた方です。ちょうど沖繩島の最南端に向かう途中に、県人避難民45名と米兵を発見した。米兵が背を屈めて、日本人の子供に触れていたのを、虐待しているのではと思い、後方から近づき米兵の正面に立ち、米兵を撃とうとした。その時、実弾が5発入っていたといいますが、確実に撃てたわけでは

日本兵の行動
その日本兵は、千葉県にお住まいの石橋明元上等兵であられたのです。この方は生存されておられるのです。いかにお二人の証言が一致するか、ちょっと紹介させてもらいます。この方は、当時27歳で、球（たま）部隊独立機関銃第18809隊に属していた方です。ちょうど沖繩島の最南端に向かう途中に、県人避難民45名と米兵を発見した。米兵が背を屈めて、日本人の子供に触れていたのを、虐待しているのではと思い、後方から近づき米兵の正面に立ち、米兵を撃とうとした。その時、実弾が5発入っていたといいますが、確実に撃てたわけでは

被害者意識を左翼が利用
では、一体、何を根拠に日本軍を非難しているかと言いますとね、「疎開」というのは下心があつてやったのだ。次の戦開力を保持し戦争に動員するための手段であった」といっています。私は沖繩県民として恥ずかしく思います。これは戦前からあった沖繩県民の癖であり、日本本土に対する被害者意識であり、ひがみというべきものであつて、それが見事に左翼に利用されているのです。

その次に申し上げます。じゃ、一般兵士はどの戦ったのかといいますが、これも実際にあった話であり、昭和59年5月16日の毎日新聞に出た記事ですが、アメリカのシカゴに住んでいる米陸軍の軍曹だったイラン・ポックさんという人が、こういうことをいっているんです。「沖繩本島の南部で、両足を銃弾で打ち抜かれて倒れている沖繩の少年がいたので、助け上げて救命していた。すると日本兵が至近距離まで近づいてきて、狙撃されかけた。ところが、その日本兵は、米兵が少年を抱抱してウイリスが打ち込まれて行くのであります。ひめゆり学徒の証言と沖繩戦を生きたびた老婆達の証言を見ていると、その中に軍から「自決せよ」とか、「死ぬ」とか言われた話はどうにも、一言も出てこないんですよ。

ところが、米兵が子供を介抱しているのを発見したので、殺す必要はないと。これは昭和20年6月20日のことでした。沖繩戦が終結したのが6月23日でありまして、最後の戦いだったんですね。殺す必要はないと、銃口を下に向けて、その場を立ち去ったのです。その次がまた偉いんです。近くには避難民とそれを監視していた米兵達がいいた。発砲すれば住民も犠牲になるから、というところで発砲を控えたというのであります。

ですから、上は大田實海軍中将から、下はこういう兵士に至るまで、日本の国威と沖繩の将来のために、真剣に戦ったのであります。それをぜひ、理解してほしいんです。(拍手)

あきれた山崎拓議員の発言
はつきり申し上げます。あの県民大会の一日前の9月28日、山崎拓代議士が、あの近くの、ラグナ・ガーデンホテルというところに来ました。彼が支援している沖繩出身の国会議員がいるので、彼の、彼の軍・自衛隊共有施設は分母に含められないのであり、何を言ったかといいますが、「渡海文科大臣は自分の派閥だ。教科書検定意見に反対するように、自分から言っておく」と、公言しているんですよ。みなさん、沖繩県民におもねって金と、朝の故地であり、漢人の入植は固く禁じられてきた。耕作により遊牧の地が荒らされるからである。それが永年の間に蚕食されて今や弁髪(べんぱつ)の満州人は消えてしまひ漢民族の天下になってきて、満州の大地は東北地方などと呼ばれていて、現状を指す。

沖繩の米軍基地は23・5%
第四に、最近、共通一次試験にも変な問題が出るようになってきました。沖繩にある米軍基地は、在日米軍基地の75%が集中して

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

疎開で16万人の命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4

命が助かった
（こ）でも一度要点を4



左から2人目演野会長、吉村副会長、西村夫人、西村真悟衆議院議員、ひとりおいて李登輝元総統

衆議院西村真悟後援会 訪台団 2007年11月16日

前台湾総統 李 登 輝

東アジアにおける日本の 主導権とリーダーシップ

日本西村真悟先生及びお伴の後援会の皆様！、今日は台湾によくおいで下さいました。心から歓迎いたします。ご苦労様でした。

皆様何のお話をしたらよいかなど、うへへへと考えました。話しの材料や対象は沢山あります。現在台湾がぶつかっている政局の困難や民主政治のゆきづまり・世界の主軸と言われるアメリカとイスラム社会の紛糾・アメリカ国内政治機能のマトリ状態・ロシアと中国の国際政治における重要な役割・中東の紛争から手を抜けないアメリカの極東における主導権の喪失・それに伴う日本と中国のアジア主導権の競争などは大切なテーマですが、皆様は恐らく日本の外から、つまり台湾から見たアジア主導権の競争で日本はどうやってゆきづまりを興味があるものと思いません。

そこで、今日は思い切って私の方から勝手に「東アジアにおける日本の主導権とリーダーシップについて」と題してお話することにしました。皆様の忌憚のない意見とご批判をお願いします。

一、はじめに
国際社会の情勢が激変する中で、東アジアも急速に変貌を遂げ、新しい政治体制の下に、迅速に新たな想像力を発揮していかねばなりません。日本は敗戦の中から再度立ち上がりました。このことは日本が単に物質を追い求めるレベルから、新しい生命と創造力を持つ国家の誕生を意味しています。小泉純一郎元総理による旧い政治体制の改革は画期的なものであります。現在日本の第一任務は、世界第二の経済ブロックに適合する国際的地位と影響力を持つ国となることです。この目標に向けて、日本政府は憲法の改正、自衛隊の改造によって、自衛隊が海外で実質的な作戦任務を執行できるように取り計らわなければなりません。また教育基本法の改正を通じて、国民のアイデンティティを確立しなければなりません。国民の愛国心を高めることは、指導者の責任であり、教育の基本的なものです。

国家安全会議の設立は強い内閣と一致した政策を打ち出すにはなくてはならない機構改正です。

二〇〇八年、アメリカ対中国の間で、太平洋争奪戦は発生しないことが予測されます。中国はアジア政治の主導を企てるでしょう。もしアメリカが引き続きイスラム世界に縛られ、身動きが取れなければ、アジア地域の政治が第二次世界大戦前の状態に戻る可能性があることを意味しています。即ち東アジア地域において限界のある権力競争が絶えず出現します。競争の主軸国家は中国と日本なのです。従って日本はこの数年間で中国に対抗するに足る力量を尽くして維持しなければならぬと思います。そしてこのことが二〇〇八年以降、日本が東アジアにおいて主導権を握る国となる唯一の策であると私は思います。

新しい東アジアのこの様な情勢と環境に囲まれた日本は、国家として極めて大変な立場にあります。そうした中、日本は東アジアをリードする生命と創造力を発揮することが求められますが、今の政局を見ますと、何だかまだ遠い感じがしてなりません。この政局を強く把握して、民主的方法をもって国を指導するリーダーシップが強く要求されなければなりません。

二、日本の指導者に求めるもの

1、ノーブレス・オブリージュを持って！

指導者になることは容易なことではありません。指導する団体の大小を問わず、基本的に一群の特長ある、又違った考え方を持った人を従え、協力一致して同じ目標に向かって前進しなければなりません。これは大きな挑戦でしょう。経営管理学の大家、ピーター・ドラッカーが言っているように、知識のある人ほど管理しにくいのです。しかし、知識のある人を使うことは指導者にとって目標を達する最良の方法でもあります。指導者はその他の専業主事のように、ただ側に立って顧問や幕僚をやらせれば良いという訳にはいきません。指導者はいつでも最前線に立って随時決断をしなければならず、決断の方向を間違えたら、その失敗のリスクを負わなければなりません。

私は二〇〇三年に『武士道の解題』を小学館から出版した時、副題としてノーブレス・オブリージュを付けました。

フランス語では、それ相応の地位にある人、リーダーとして他人のため、社会のために自分の能力を注ぐことが、与えられた使命だと感じる人間を指します。それがリーダーの条件であります。私はこの言葉に二通りの意味があるとも思っています。一つは強いリーダーとしての振興、或いは信念をもってのこと、もう一つは国のため、老人、社会、国民に全てを捧げる態度が必要なことです。

私は総統に在任中、妻や息子の嫁、孫娘と一緒に観音山に登ったことがあります。大変苦労して一キロ前後の坂道を登り、ようやく山頂につくと、山頂は大変狭く、四方はすべて険しい崖でした。実際、山頂に立って周をり見渡すと、じっと動かないでも、自分が非常に危険な場所に立っているのだと感じ、恐怖で思わずぞっとしました。もちろん、そうした場所では、自分自身以外に頼れるものは何もありません。総統になるというのは、まさに観音山の頂上立っているようなもので、誰も助けてはくれません。そうした時に気力を勇気を与えてくれるのは、われわれが信仰する神だけなのです。どのような神かは関係ありません。私はクリスチャンなのでイエス・キリストを信仰していますが、他の宗教を信仰しているなら、自分の信じる神に祈ればよいのです。人が自分の力で生きるには、自らの信念や心の弱さを十分理解する必要があります。そして、これらを理解するには信仰が不可欠なのです。

私は心の安寧を求めて神を信仰しているのです。自らの倫理観を貫き、使命感を十分発揮するには、信仰がぜひとも必要です。何か決断を下すときには、自己の存在を超越した何かを十分に意識することです。こうした意識は、自分の力を十分に発揮するためには非常に重要です。指導者は、しばしば打撃を浴び、また多くの辛い思いもします。このため、強い信仰が必要なのです。私の経験から言いつつ、政治において信仰を持つことは、使命感を失わない唯一の方法であると確信しています。

私の政治信念は、「天下為公（天下は公のため）」です。いわゆる「公」とは国家を指します。二〇〇〇年三月の総統選挙に私が出馬しなかったのは、一日も早く民主を台湾に根付かせねばならないという気持ちからでした。

これは当面の急務であり、すべて台湾のためを思っていることです。私がそうすれば、台湾が真に民主を實施していることを国内外にアピールできます。国際社会から排除され中国の軍事的威嚇を受ける台湾にとって、これは最高の「さよならホームラン」であったと言えるでしょう。政権の平和的移行は空前の快挙であり、台湾だけでなく、中国の歴史から見てもはじめてのことでした。そのうえ、政権は国民党から、対立する民進党の手に渡されました。私がかつて出馬しなかったのは、国家のためであって、一党の利益を考えたからではありません。

政治家としては、このように国のため、いつでも権力を手放す覚悟が必要なのです。私がかつてにしたのは、台湾の民主化をさらに一歩進めるためには、自分自身も一期は務めないと考えたからです。節を守るの重要なことですが、私には国民に対する使命感があり、この使命感を果たすまでには肩の荷を下ろすことができません。二〇〇〇年の総統選挙に出馬しなかったのは、主にこの点に関係しています。

「権力は一人ひとりに与えられた力ではなく、制度から敷衍された客観的な力なのだ」とも言えます。権力は必要な時にだけ取り出して使うことができるのです。事に当たるには権力が不可欠ですが、いつでもそれを手放す覚悟がなくてはなりません。つまり、権力とは「借りもの」なのです。私は、ひたすら権力にしがみつく政治家は愚かだと思えます。

2、私情に流されず、明快に処理する

部下に関する問題については、選挙で我々支持してくれた人に対しては、当然ながら、当選後にそれを報いたいものです。しかし、これには限度があります。選挙は選挙であり、国政は国政であって、まったく別物なのです。選挙が終わったら、かれらにみだりに指示を出したり、あまり頼りすぎたりしてはならないのです。関係を断ち切るべき時には、明快にはっきり断つべきです。

私は総統になる前、台北市長、台湾省主席、副総統などを歴任しましたが、その間私を補佐していた秘書がいました。彼は、あらゆる面で非常に優秀で、筆も立ち、大要役に立つ人材でしたが、私は副総統になった後、その秘書を辞めさせました。彼が、国家に関わるような問題を起したからです。私は、彼に対しては情はありましたが、それに流される訳にはいきませんでした。

また、私は父の友人にさえ、むやみに会おうとはしませんでした。父は県会議員を務めたことがあり、地元の人々と親密な関係を持っていました。しかし、私は父に、決して誰か推薦したりしないよう伝えました。実際、多くの人が父を通して、人事や工事などのとりなしを頼んできましたが、私はある晩、父に言ったのです。「お父

さんが議員であった間、たくさんの人に助けられたことは分かってはいますが、私はかれらの頼みごとをきくつもりはありません。ですから、人を紹介したりしないので、「だいたい」と。それから、こうした事態は一度も起こりませんでした。父が亡くなる前に、私は、「あの晩から一度も人を紹介してこなかった。本当にありがとう。おかげで、私は安心して職務に当たることができました」と父に心から感謝しました。

多くの人が、政治家になったら、多少は汚い手を使わないわけにはいかないと考えています。政治家は、自らの政策を実践するために権力や後ろ盾、資金が必要で、これを手にするためには、さまざまな利益争いのなかで巻き込まれるを得ず、最初は、国家の中であってもいったん政治の世界に足を踏み入れると、だんだん考えが変わってしまうのです。周囲の人が冷やかな目で見えるなか、政治家は、一方で泥を飲みながらも一方それ天に上るより難しいことです。しかし、それでも原則を堅持して、努力しなければなりません。

以上に述べたり言ったりしたことは、あるいは「薄情だ」と批判されるかもしれませんが、私も、多くの人が非難を浴びました。しかし、厳正な姿勢で臨まなければ、理想的な政治を進めることなどできないでしょう。

3. 堅固な意志で「悪役」を演じる

二〇〇〇年の政権移行の際、メディアは、私の妻が五十四ケースの米ドル(計八千五百万円)を持って国外に逃げたと報道しました。この件について、私の態度は非常にきつぱりしていました。これは、まったくの事実だめだったので、私はすでに政権から身を引いていました。これが最後かもしれないと思ひ、正義に訴えないわけにはいかないと考えて裁判所に告訴しました。それまで、私はこうしたスキャンダルをいちいち気にしていませんでしたが、この時は妻まで巻き込まれたので、告訴せざるにはならなかったのです。この事件では、すでに相手方に有罪判決が出ています。同様の問題は数え切れないほどあって、十二年の総統在任はもうろく、現在でもこうした状況はなくなっています。

私は本来、こうした面で大変注意を払っており、先ほども申しましたが、父親にさえ、とりなしを頼まないようにと言っておりました。私は、収賄して法を曲げるようなことは決してしません。それぐらいなら、自分の財産も自分名義で登記しない方を選びます。我が家の田舎の土地は、贈与税を払って孫娘の名義で登記していますし、大溪や台北の家は私の財産ではなく、毎月の給料は私の名義で受け取っていますが、全部妻に渡して管理させています。このため、私には昔から、家もなければ株

券もなく、だからこそ、職務を遂行しやすかったのです。賄賂を贈ろうとやって来た人もいましたが、私は絶対に受け取りませんでした。実際のところ、とくに地方選挙や立法委員選挙の時にはお金を持って来る人が多かったのですが、「こんなことをされたら困る」と言っていて、みんな持ち帰らせました。

日本の政界には派閥がありますが、国民党には派閥がないので、その点では処理しやすかったのです。資金の潤沢な国民党に身を置き、政治家として資金面で心配がないというのは、大変有利であったかもしれない。党員が選挙に出馬する時も、私は資金調達で悩むことはありませんでした。私が直接資金の問題に関わったわけではなく、県市長選挙や立法委員選挙などに誰が出馬しようとも、選挙資金の分配について私が決定したり管理する必要はなかったのです。もし、党がどの候補者にどのくらい資金援助するのか、私がはっきり把握していたら、「なぜそんなに差があるのか」と聞いて、いろいろな問題が出かねないため、口出ししないようにしていました。私自身が出馬した時も、資金問題には関わらず、すべて選挙総幹事に委ね、財務責任者にまかせていました。私には金銭にかかわる問題は一切ありませんでした。

私が演じていた役割は、いわゆる「ブルドーザー」で、具体的に言うと、ある県の県長選挙で候補者が複数いた場合に、調整役となって、「あなたは今回は出ないほうがいい」、「あちらに譲ってあげよう」、「ほかの選挙に出よう」、「相互協力こそ有利だ」となどアドバイスし、あらゆる手段で候補者を説得することでした。これこそ私の主要な任務で、つまり「悪役」を演じているのです。誰かがこの役を演じなければなりません。党が公認候補の選び方で何度も失敗しているのは、主に責任者が悪役になって人の恨みを貰うのを避けた結果なのです。

4. 官僚が阻む日本の創造性

もう一つ、日本の生命力と創造性の発揮を阻んでいるのが官僚の存在です。例えば外務省はチャイナスクールにより、旧態依然とした考えから全く抜け出せずにいます。今回の私の訪日に当たっても、外務省の官僚のなかには、大陸中国との関係を慮って難色を示す者がいたそうです。しかし、すでに大陸中国の上層部が私の訪日に対して強いプレッシャーをかけてくることはありませぬ。安倍総理も麻生大臣も、そのことは分かっています。チャイナスクールだけ、そのことが分かっているかたはよく分かります。彼らは状況の変化を把握しようとしていないのです。

また官僚は、新しい提案については「法律上問題ある」としか言いません。その法律は、それが百年前につくられたもので、「時々刻々と時代は変化している」、「こちらが主張しても、頑として認めません。戦後の日本はこ

のような考えかたをする官僚がほぼ全てを司ってきたという印象を受けます。これだと法律に従って動くだけで、法律にない新たなことはなかなか生まれてきません。これまでは日本は発展を遂げてきましたが、今後のさらなる繁栄は阻害されてしまっているように思います。



左から、李元総統、同夫人、濱野会長、同夫人、西村真悟夫人と西村真悟衆議院議員

小型バスを走らせ、一〇元で、どこにも停まれるようにしました。さらにみかんとお茶については全品種の改良を行ない、お茶園では休日、人々が散歩する際にお茶を提供するようにしたのです。やがてこれが観光化し、その地・猫空はお茶どころとして、知られるようになりまし。そして今年、ロープウェイも引かれ、観光地として、ますます栄えています。

北向きにしたいと訴えても、「法律で決まらないうえに、お陰で沖繩の生徒からタメだ」といふもなき断られる。汗だくで作業をやや先生たちは、かんかん照りのなか、汗だくで作業をやっていると言ったことが、結局、中央にいて法律しか見ていないから現場の人間に思いが至らないのだと思

きました。大震災で最大の課題は死んだ人間を如何に早く吊りかたうことです。それについて、私は現地で陣頭指揮を執って対応しました。余談になりますが、昭和二十年三月十日の東京大空襲の直後、陸軍軍人として焼け跡で経験したことがそこでは大いに役に立ちました。

また被災地に資金を運び、直接県長に渡すこともしました。政府が資金援助を決め手も、手続きを踏んで実際に地方にまでそのお金が届くのはずっと先になります。しかし現場ではそんな悠長なことを言っていられません。そこで直接資金を渡したのですが、小さい村は一〇〇万円、大きい村は二〇〇万円と、具体的な金額まで私が決めました。官僚に任せると現状に追いつかない、適切な判断が出来ないと分かっていたからです。

一方、政府の復興委員会は副総統や行政院長(首相)に任せ、私は現地で報告を受けることになりました。結局震災後三十日のうち、二十一日は現地にいて様々な指示を出したことになります。

日本は強力な指導者が必要

私は官僚を経験してきましたが、常に心がけていたのは、現場に行くことです。三十歳ごろの話ですが、官初に赴任した雲林県では、農村の人々が本当にひどい生活を送っていました。茅で覆ったみすばらしい家に住み、そこに牛なども住んでいました。おかしな芋しかなく、水道もないありさまでした。そんな暮らしを見て気の毒になり、大規模な土地整理を実施することを決意しました。土地整理を行って、農民に土地を分配し、その後、豚小屋を作った一戸あたり一〇〇頭の豚を飼わせ、その隣に住居を造って住ませました。

今年七月に新潟県中越地震が起きた時、総理もすぐ現地に飛んだそうですが、ほんの二時間しか滞在せず、現場で指示をせず、トンボ帰りに具体的な対策を立てた訳でもないと言っています。日本の知人は選挙用のパフォーマンスしか見えなかったと言っていました。現地で状況を的確につかみ、具体的な指示を出し続ける。そのようにしてはじめて、官僚の専横を止めることが出来ると思っております。

前述の四点では、指導者の倫理上の規範と理解に関する問題をお話しました。しかし、指導者は、国民の圧倒的な支持を得て権力を掌握したとしても、国民から見放されるという最悪の事態にも考えが及ばなければなりません。マキャベリの『君主論』は、「民衆を基盤とする人は、政治の基礎を砂の上に築くように危険だ」と述べています。唐の太宗の功臣、魏徵も「君主とは舟であり、人民は水である。水は舟を浮かべるが、またこれを転覆させることもできる」と言っています。王朝であれ帝国であれ、また共和国であれ民主国家であれ、これらはおそらく共通することでしょう。よって、指導者は、国家と国民に対して忠誠心を持ち、あらゆる面で謙虚でなければならぬのです。

カリスマ性は、指導者や政治家にとって大変重要な概念です。カリスマ性のある指導者は、超人的かつ非日常的な素質を持ち、大衆を魅了し熱狂的な支持を得ることが出来ます。カリスマ的な指導者は、大衆を動員するために習慣上の手続きや合理的な判断といった方式を採る必要はなく、迅速に危機的状況に対応できます。この点において、カリスマ的な指導者は、たいてい智慧を用いることなく、秩序的な感情を創造することが出来ます。歴史上、多くの英雄や指導者がこうした煽動的な行動や力を持ち、多くの政治問題を解決してきました。カリスマ的な指導者は、長期的な政治生命を保つことはできません。

指導者は、「権謀術数」を用いて政府の役人を統制したり、国民をコントロールしたり、メディアを利用してカリスマ的な力を作り人気を高めようなどと考えたりすべきではありません。

三、終わりに
さて、私の話はこのへんにいたしましょう。再度申し上げますが、日本は今、強力な指導者を必要とする重要な時期にあります。そして日本が東アジアに於ける主導権を掌握できるよう、努力しなければなりません。しかしながら指導者はまた、ほかのひとよりも多くのプレッシャーを受け、また多くの孤独にも耐えねばなりません。その為、本日お話ししたように、指導者は強い使命感と信仰を持つべきであると思っております。

これで、本日の講演を終わらせて頂きます。
ご清聴ありがとうございました。

5. カリスマ性と人気
同時にアスファルト敷きの道路をつくり、トヨタ製の

同時に来たトヨタ敷きの道路をつくり、トヨタ製の

皇居前の楠木正成(大楠公)銅像前で



旧陸軍士官学校講堂前。この中で極東国際軍事裁判(東京裁判)が開かれた

横須賀米軍基地

旅行修

高橋適水庵老師を 想う

この度、高橋前会長の関防会の東京、横須賀への研修旅行に参加、すばらしい縁のおかげでいい旅をさせていただきありがとうございます。

参加者全員しっかりと背筋が伸びていて、ニヤケタ人間が誰もいない。いい人達ばかりで、総てにゆとりがあるからなあと感心した。この団体は、まこと珍しい魅力があります。

特に濱野会長(ご夫妻、そして前田局長他役員の方々)には、今も高橋前会長の

丸山幸子(瑞春)

ご意志が、脈々と流れていて凄く感じ、私共にもピンと気持ちよく伝わって来ます。

行く先々では暖かく親切に規定外の扱いを受けて感激、また優れた人材がそれぞれに配置されていて凄いなあと感動、私自身も引き締まる思いがした。

靖国本殿では、あたくも適水庵撤舟老師に参拝するが如くの手持で、それはそれは緊張感の絶頂、あの時老師の真ん中で頭の中に焼付いた無縫塔話がじりじりと

靖国神社に感動 一小路 泰史

今回私は2回目となる「関西防衛を支える会」の研修に参加させて頂きました。

九段会館へは初めて行ったのですが、とても立派な建物だったので、恥ずかし

山になつていてという時の流れを感じさせてくれました。(当時は目隠しにしてはいたのですが、私は推測して慰霊碑)参拝時の小雨を除いて(九段会館での宿泊時は大雨)快晴であったことや、羽田に向かう高速道路上からは、夕焼けの中の富士山が拝めたことがあげられます。

こんな素晴らしい旅を企画して頂いた前田局長、そしてこの旅のコンダクターである「なにわ観光」の北嶋社長には、厚くお礼を申し上げます。

私にとって最高の幸運は、旅行中、紛失していた大切な万年筆(退職記念に後輩から貰った記入入りのモンブラン)が見つかったことで、発見してくれた京急観光バスの山下ガイドに、改めて感謝しているところです。

高橋適水庵老師を 想う

この度、高橋前会長の関防会の東京、横須賀への研修旅行に参加、すばらしい縁のおかげでいい旅をさせていただきありがとうございます。

参加者全員しっかりと背筋が伸びていて、ニヤケタ人間が誰もいない。いい人達ばかりで、総てにゆとりがあるからなあと感心した。この団体は、まこと珍しい魅力があります。

特に濱野会長(ご夫妻、そして前田局長他役員の方々)には、今も高橋前会長の

丸山幸子(瑞春)

ご意志が、脈々と流れていて凄く感じ、私共にもピンと気持ちよく伝わって来ます。

行く先々では暖かく親切に規定外の扱いを受けて感激、また優れた人材がそれぞれに配置されていて凄いなあと感動、私自身も引き締まる思いがした。

靖国本殿では、あたくも適水庵撤舟老師に参拝するが如くの手持で、それはそれは緊張感の絶頂、あの時老師の真ん中で頭の中に焼付いた無縫塔話がじりじりと

靖国神社に感動 一小路 泰史

今回私は2回目となる「関西防衛を支える会」の研修に参加させて頂きました。

九段会館へは初めて行ったのですが、とても立派な建物だったので、恥ずかし

山になつていてという時の流れを感じさせてくれました。(当時は目隠しにしてはいたのですが、私は推測して慰霊碑)参拝時の小雨を除いて(九段会館での宿泊時は大雨)快晴であったことや、羽田に向かう高速道路上からは、夕焼けの中の富士山が拝めたことがあげられます。

こんな素晴らしい旅を企画して頂いた前田局長、そしてこの旅のコンダクターである「なにわ観光」の北嶋社長には、厚くお礼を申し上げます。

私にとって最高の幸運は、旅行中、紛失していた大切な万年筆(退職記念に後輩から貰った記入入りのモンブラン)が見つかったことで、発見してくれた京急観光バスの山下ガイドに、改めて感謝しているところです。

とにかく、ラッキーの連続と言え二日間の旅です。

まず最初のラッキーは皇居でのキューバとハンガリーの駐日大使の信任式に臨む、馬車列を一回も見学できたことです。運が悪いとこの行事のための交通規制でストップを余儀なくされ、事後のスケジュールに狂いが生じることがあるとのこと。

富士見橋を始め宮城内を案内してくれた宮内庁職員のコモアの中にも威厳を感じさせる話術と指揮で、四列縦隊を守るのが会員達のお行儀のよさは、高採点は頂けるものと思います。

防衛省の見学では、移転保存されている市ヶ谷記念館の旧陸軍士官学校大講堂で開廷されたいわゆる東京裁判に伴う広報官の逸話の紹介は、私の不勉強をあからさまにするほど新鮮なものでした。

この裁判がGHQの統括

幸運に恵まれた 東京・横須賀への旅 大道 欣孝

靖国神社では、秋祭例大祭中にもかかわらず、昇殿参拝が許されるといふ幸運がありました。これはこの企画を担当された方々の苦勞の結果と知りましたが、遊就館早期見学の配慮と相まって、有意義な時間が過ごせました。ここでは、知覧と同様、若い特攻隊員の

遺書に涙を流せることができませんでした。特に、昭和五七年、佐藤重吉に宛てた母室ナミさんの手紙とご神前に奉納された花嫁人形を、悲しくもいとおしく感じたのは私だけではないでしょう。

横須賀では米軍基地内の立ち入りに伴う厳重なセキュリティ・チェックを体験しました。が、食堂では極上の洋食料理に恵まれました。

一部にステーキが硬かったという人がいましたが、私を始め多くの人が、柔らかくて美味しく戴きました。これも幸運の一つです。また、焼きたてのフランスパンは香ばしくて、思わずお代わりをしたほど美味しかったのもラッキーでした。

広大な敷地の中、大きくなるたびに番号が増えるドックを見学しましたが、施工時、掘り起こした土の処分場が、今は緑一杯の小

山になつていてという時の流れを感じさせてくれました。(当時は目隠しにしてはいたのですが、私は推測して慰霊碑)参拝時の小雨を除いて(九段会館での宿泊時は大雨)快晴であったことや、羽田に向かう高速道路上からは、夕焼けの中の富士山が拝めたことがあげられます。

こんな素晴らしい旅を企画して頂いた前田局長、そしてこの旅のコンダクターである「なにわ観光」の北嶋社長には、厚くお礼を申し上げます。

私にとって最高の幸運は、旅行中、紛失していた大切な万年筆(退職記念に後輩から貰った記入入りのモンブラン)が見つかったことで、発見してくれた京急観光バスの山下ガイドに、改めて感謝しているところです。

山になつていてという時の流れを感じさせてくれました。(当時は目隠しにしてはいたのですが、私は推測して慰霊碑)参拝時の小雨を除いて(九段会館での宿泊時は大雨)快晴であったことや、羽田に向かう高速道路上からは、夕焼けの中の富士山が拝めたことがあげられます。

こんな素晴らしい旅を企画して頂いた前田局長、そしてこの旅のコンダクターである「なにわ観光」の北嶋社長には、厚くお礼を申し上げます。

私にとって最高の幸運は、旅行中、紛失していた大切な万年筆(退職記念に後輩から貰った記入入りのモンブラン)が見つかったことで、発見してくれた京急観光バスの山下ガイドに、改めて感謝しているところです。

前列左から折木大将、濱野会長
後列左から前田、梶川、松田、吉村の役員 右端 酒井陸幕副長



防衛省 陸上幕僚長 折木陸将表敬記念(H19.10.19)

米海軍、航空母艦「キティホーク」前で。キティホークは翌日出航した



靖国神社・皇居・防衛省

戦艦「三笠」に歴史を見る

細川 裕司

最初に、戦争時に何があったのか、現在国防とどのように行われているのか勉強する機会を与えてくださいました社長へ、お礼を申し上げます。この研修を機会に、戦争について勉強し、国防について考えたいと思います。

今回の研修では初日に皇居と防衛省を見学、二日目に靖国神社参拝、横須賀米軍基地と三笠公園を見学しました。

皇居では、皇宮警察官の案内を受けながら昭和初期に建築された庁舎や天皇陛下が御公務をお執りになる宮殿を見学しました。山下通りや宮殿東庭から見える庭園は整備され綺麗でした。宮殿東庭では2カ国の大使任命式の様子を見ました。滅多に無いことだそうで良い機会に巡りあいました。当たり前ですが皇居内では監視されていました。

防衛省では市ヶ谷記念館で東京裁判と三島事件について説明を受けました。東京裁判の行われた状況を説明していただき、当時の裁判の様子を知ることができました。三島事件で三島由紀夫が立て籠もりを行った総監室と、その事件で出来た刀傷等を見学しました。防衛省について知らなかった事が多く聞けてよかったです。靖国神社では本殿に昇殿・参拝と遊就館を見学しました。

遊就館では「回天」の展示品を見ました。「回天」は、乗り物に弾薬を積めたのではなく、弾薬(魚雷)を乗り物にした兵器であり、「特攻精神」という言葉を具現化するために作られた兵器だという事を改めて知りました。

市下 敬朗

皇居、防衛省、靖国神社、横須賀米軍基地、三笠公園

普段は入ることの出来ない皇居外苑を見学しました。都心とは思えない広さで、敵かな雰囲気のある建物や厳しい警備の状態を見て、改めて重要な場所だということを感じました。

1. 皇居外苑

日本の防衛の要であるだけに、非常に広い土地に立派な建物、歴史的に価値のある貴重な建物があります。

2. 防衛省

この度はじめて会員として研修旅行に参加する事になり、前田事務局長より本省に眠る殉職自衛官の碑に会長が献花なされたので、お経のいちばんあげたい所を頼むとご下命頂いた。

3. 靖国神社

普段は入れない本殿の中でお国のために亡くなった方々に黙祷を捧げました。遊就館の中にある資料はどれも貴重なものばかりでした。そしてその中身こそ語り継ぐべき歴史観だと思いました。

4. 横須賀基地

この度はじめて会員として研修旅行に参加する事になり、前田事務局長より本省に眠る殉職自衛官の碑に会長が献花なされたので、お経のいちばんあげたい所を頼むとご下命頂いた。

本日は「回天」の展示品を見ました。「回天」は、乗り物に弾薬を積めたのではなく、弾薬(魚雷)を乗り物にした兵器であり、「特攻精神」という言葉を具現化するために作られた兵器だという事を改めて知りました。

『言魂のさいわいあれかしと国軍に祈る』

国軍殉職自衛頭官尊霊位 妙見宗僧侶 小西正純

「延命十句観音経」と言魂の結晶である陀羅尼を誦経し、その前後を整えるべく表白文を作り、献花に従って奉読したのが太字の文章である。

編集後記

*新年を迎えたとっても加齢のせいか感慨は深い。孫其々家族の健康が何よりと思っているが、昨年愚生の感じたワーストスリー事件を挙げる。愛知県警の警官がヤクザに撃たれて倒れた姿が数時間もテレビに映った件と新潟の地震で原子力発電の付帯設備が延々と黒煙を上げていた映像、そして赤城某と云う農林水産大臣のパンソウコウ姿の三件だ。

40年ほどまえ西成釜ヶ崎の暴動事件で南海電車の駅舎が放火されたが、其のときの大府警の警官は軍隊帰りが多く、素早く見事に鎮圧した。いまや日本国民は緊張感を欠いている。好例が小沢民主党の国会開会中の中共詣でだ、これには民主党の大議員が痛烈に批判している。二月九日の大江議員の講演会を是非拝聴下さい。

*月に2回くらいカラオケに行って軍歌など聴いている。其の際必ず旧制高校の寮歌や校歌を聞き練習している。

新春5日から北辰斜めにさす所」と云う映画が上映される。これは鹿児島にあった第七高等学校(現・鹿児島大学)の寮歌の冒頭の歌詞である。内容は分らないが題名だけで良い映画だと推測できる。池田勇人、佐藤栄作と云う元総理大臣は熊本第五高等学校の同級生だった。その寮歌に「意気や溢るる五高魂 その剛健の 質なりて 玲瓏とらす人の道」断雲乱れ 飛ぶ所 斬魔の剣 音を立てスラブの末路 今ぞ見る」と歌った政治家だ。お二人とも高級官僚の出身だが、その心意気はまさに日本を託すに至る人物だった。

前防衛次官の守屋某を始め、今の官僚に故人の爪の垢を飲ませたい。小会の故高橋会長も旧制高校の年代だった。ついこの間、明治は遠くなりにけり、と聞いたが、今年は大正は遠くなりにけりだ。(新)

第20回 同期の桜を歌う会

期日 平成20年4月5日(土曜日)

時間 午後1時から

場所 大阪護国神社

出演 梅谷裕子(ソプラノ歌手)

会費 1000円(麦酒代)

謹賀新年

新春を迎え
皆様のご多幸を、
お祈り申し上げます

平成二十年元旦



関西防衛を支える会 会長
大阪新樹会 代表幹事
新しい歴史教科書を作る会大阪会長

濱野晃吉

〒542 0081 大阪市中央区南船場三十一番十一号
TEL(06)6241-1124
FAX(06)6245-7489

関西防衛を支える会 副会長
大和心のつどひ 代表

吉村伊平

〒546 0044 大阪市東住吉区北田辺六丁目十三番十九号
TEL(06)6611-0661
FAX(06)6611-0661

関西防衛を支える会

顧問 山根 穰

〒663 8223 西宮市今津美町五十一番一
TEL(079)216-1300
FAX(079)216-1300

関西戦中派

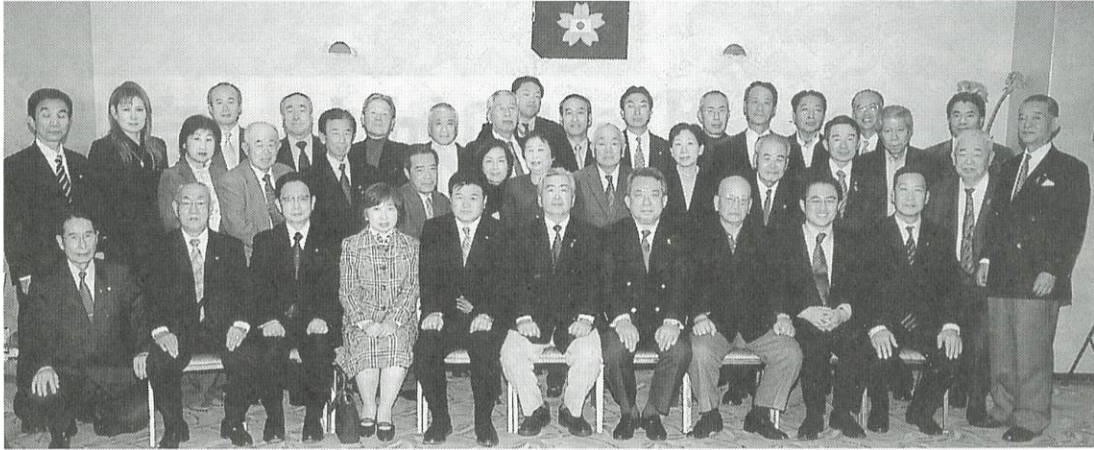
主幹 津村忠臣

〒540 0012 大阪市中央区谷町2丁目3番6号
TEL(06)6941-3537

関西防衛を支える会

監事 梶川勝平

〒599 8125 堺市東区大美野八六番地六
TEL(073)2376-0933
FAX(073)2376-0933



椅子席左から梶川監事、大前繁雄衆議院議員、西村真悟衆議院議員夫人、木挽司衆議院議員、濱野会長、吉村副会長、竹本相談役、筒井信雄兵庫県会議員、土師純一堺市議

自衛官募集相談員
海上自衛隊予備自衛官

山下弘文

関西防衛を支える会

事務局長 前田 稔

〒553 0006 大阪市福島区吉野四一九一〇
TEL/FAX(06)4302-5187

関西防衛を支える会

財務副部長 柳本 顕子

〒599 8114 堺市東区日置荘西町三三二二〇
TEL(073)350-4886

関西防衛を支える会

渉外副部長 櫻井 照男

〒575 0061 四条畷市清滝中町一五三三五
TEL(072)8770-4755

日本会議大阪 女性の会

〒542 0081 大阪市中央区南船場三十一番十一号
TEL(06)6241-1124
FAX(06)6245-7489

関西防衛を支える会

事務局次長 釈迦郡 文雄

関西防衛を支える会

理事 塚原 照一

三流主義
一 国の為に血を流せ
二 友の為に涙を流せ
三 家の為に汗を流せ
〒675 2313 兵庫県加西市北条町黒駒三〇五番地の一

関西防衛を支える会

理事 北島 一憲

〒584 0094 富田林市富美ヶ丘町三三一一〇
TEL(072)2516-4244

関西防衛を支える会

理事 平田 和枝

〒531 0073 大阪市北区本庄西二一八二二三
TEL(06)6376-0566

関西防衛を支える会 常任理事
財団法人 満鉄会 大阪府満鉄会
第三十六連隊協賛会 常任理事
海上自衛隊を愛する会 理事

小味 澁 敦雄

〒565 0804 吹田市新菅屋上十三三三三〇二
TEL/FAX(06)6876-1857

関西防衛を支える会

総務副部長 中屋敷 賢一

〒579 8046 東大阪市昭和町二二二二
TEL(072)831-3133

株式会社 タンモト

代表取締役 橋田 肇

〒569 0023 高槻市松川町一〇一〇
TEL(09)51631-6119

日本システム研究所 コンピュータソフト開発全般

〒550 0014 大阪市西区北堀江一丁目五二二
四ツ橋新興産ビル11F
TEL(06)6536-1471
FAX(06)6536-1476
URL http://www.nsr.ne.jp
Email:main@nsr.ne.jp

株式会社 マツダスクリーン

代表取締役 松田 清

〒599-8102 大阪府堺市東区石原町1丁目23番地の2
TEL 072-258-0002
FAX 072-258-1281
URL http://www.matsuda-screen.co.jp/

自衛隊広報紙

広告掲載企業募集

中部方面隊広報紙 やましろ
第10師団広報紙 金蔵
第3師団広報紙 錦城
第13旅団広報紙 みつや

株式会社 若鳩

本社 〒570-0032大阪府守口市菊水通2-19-1菊水第二ビル
TEL(06)6993-0099
支社 〒530-0028大阪市北区万歳町4-12浪速ビル西館401-B号
TEL(06)6362-0888
FAX(06)6362-3591

死んでたまるか!!

田幸教授(琉球大)開発の特許商品!!
沖縄モズクと北海道産真昆布(アノ)の
純粋フコイダンをダブルで配合!!
生活習慣病が気になる方に...



【フコイダンZ】150粒(25~50日分)25,000円
お試し用30粒入り2,000円と
お徳用350粒入り50,000円もあります。
Beauty Health Laboratory
ビー・エイチ・ラボ
〒553-0006 大阪市福島区吉野4-19-10
TEL(06)6462-5820 FAX(06)6462-5824
携帯・PC共通 http://bh-labo.net